

《医療ガス・人工呼吸器編》

VIII. 医療ガス使用した患者の管理が安全かつ確実に行える

文末が「知っている」→0⇒1：知らない 1⇒2：聞いたことがある ~~2：だいたい知っている~~ 3：知っている
 文末が「できる」→ 0：未経験 1：できない 2：指導があればできる 3：一人できる

A. 酸素マスクやカヌラを使用した酸素の投与が安全にできる		0ヶ月	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
1	酸素ボンベを間違わずに選択できる					81.6
2	酸素ボンベを安全に保管・管理する方法や必要性がわかる					80.3
3	中央配管アウトレットの点検ができる				68.7	48.3
4	酸素ボンベの残量を確認し、流量から残時間の予測できる				87.7	56.2
5	酸素のアダプターを選択できる				82.8	64.1
6	酸素ラインの点検ができる(患者側・流量計側・ラインの水・接続・圧迫など)					85.7
7	酸素開始の際、チューブに水が入っていないことを確認できる					87.0
8	マスクとカヌラの選択基準がわかる				93.9	74.8
B. 清潔・安全で効果的な喀痰の吸引ができる						
1	呼吸音を聴取し、喀痰の貯留を確認できる					83.0
2	気管内吸引の準備ができる					75.5
3	患者に適した吸引カテーテルを選択できる				92.5	65.1
4	滅菌手袋の正しい使い方ができる					83.0
5	閉鎖式気管内吸引チューブを使った吸引ができる				59.7	47.9
6	閉鎖式気管内吸引チューブの交換ができる				53.1	39.2
7	吸引時の呼吸状態を観察し、吸引ができる				91.1	79.5
8	吸引後に呼吸音を聴取し、効果を確認できる				94.5	78.8

IX. 人工呼吸器を使用した患者の管理が安全かつ確実に行える

A. 気管内挿管の準備ができる						
1	なぜその患者が気管内挿管の必要性があるのか知っている				78.6	42.1
2	気管内挿管の必要物品が準備できる				54.8	23.3
3	気管内挿管の手順を知っている				58.2	24.7
4	気管内チューブの種類は、体格や年齢に応じていなければ危険だと知っている				72.8	48.3
5	気管チューブのカフairの適量を知っている				71.2	39.7
6	チューブが気管内に入っていることが確認できる				54.1	37.0
7	気管内チューブが入りすぎると、片肺挿管となり危険だと知っている				80.3	57.8
8	片肺挿管時の症状を知っている				59.7	34.7
9	気管内チューブは十分固定しないと危険だと知っている				86.4	66.7
B. 人工呼吸器の基本的知識がある						
1	自然呼吸と人工呼吸の違いについて知っている				87.1	61.9
2	人工呼吸器使用による合併症を知っている				76.0	34.9
3	人工呼吸器の回路の仕組みを知っている				61.9	23.1
4	人工呼吸器の各モードの違いについて知っている				61.9	33.3
5	患者の特性にあわせた人工呼吸器使用時の正常な気道内圧・1回換気量について知っている				55.2	21.4
6	加温加湿器の必要性を知っている				87.7	67.1
7	加温加湿器に水道水が不適当な理由を知っている				83.7	63.3
8	加温加湿器の温度が適温でないことのような危険があるか知っている				76.9	54.4

H19年度1年後に「3」の割合
(左隣は「3+2」の割合)